

# 奈良県眼科医会 総会兼学術定例会・第55回集談会のご案内

初夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、標記定例会を下記のとおり開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席  
くださいますよう、お願い申し上げます。

記  
日時：令和元6月16日(日) 13時～  
場所：奈良県医師会館 3F講堂  
橿原市内膳町5-5-8  
Tel. 0744-22-8502

## ■ 教育講演 (14:30~15:00) ■

座長：奈良県眼科医会副会長 黒田 真一郎

### 「 小児の斜視検査と視能訓練 」

講 師：近畿大学病院 視能訓練士 若山 暁美 先生

斜視検査は難しい、どのように検査を進めていけば良いのか迷うことがあるのでは  
思います。特に小児では、集中力が短く限られた時間のなかで診断や治療に役立つ検査を  
症例に合わせて選択する必要があります。本講演では、具体症例をあげながら小児の視  
力検査、屈折検査から両眼視機能検査、斜視手術に必要な検査と斜視検査の進め方、  
さらに有効な視能訓練の実施についてご紹介させていただきたいと思ひます。

## ■ 特別講演 (15:00~16:30) ■

座長：奈良県眼科医会会長 池田 定嗣

### 「 眼形成からみた外来手術のコツ！ 」

講 師：愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科  
教授 柿崎 裕彦 先生

昨今の眼形成は、外来手術に特化する形でポピュラーになってきましたが、形成外科的  
な手技をもって眼科治療を行うこの分野は、一般眼科とは少々異なったテイストが必要  
です。

外来眼形成手術の守備範囲は「眼瞼」と「涙道」です。眼瞼疾患の中でも霰粒腫や内反  
症は、定量や美容的要素が少なく、眼科医にとって取り組みやすい疾患かと思ひます。  
しかし、下眼瞼であっても癒痕性内反症や外反症は、軟骨移植が必要であったり、重力  
の影響を考えたりなど、一般眼科医には複雑な部類に入ります。

上眼瞼は美容的な要素がかなり大きいので、眼科医には手の出しにくい分野かもしれま  
せん。欧米で言われる「眼瞼下垂は眼形成手術の悪夢だ」という言葉はまさにこの事を  
物語っています。

しかし、奈良でも誰かがやらなきゃいけない！手術では色々と考えなくてはならないこ  
とがありますが、重要な部分に絞って単純化すればなんとかなるような気がします。

しかし、相手は患者、人間です。手術をするなら、切開、縫合、止血という眼形成の基本  
手技は必ず身に付けておかねばなりません。

涙道に関しても基本が大切で、これは三次元的な解剖の理解と、それに基づいたテク  
ニックの習得と実践です。

今回の講演ではこのような基本から始め、外来眼形成手術の柱となる部分について話を  
したいと思ひます。

## ■ 第55回集談会 (16:30~17:30) ■

現在募集中です。ご応募お待ちしております。

※当日、演題を提出いただいても結構です。

奈良県眼科医会 御中

奈良県眼科医会総会・学術定例会

(於：奈良県医師会館)

出 席

日本視能訓練士協会 会員

勤務医療機関名

---

ご 氏 名

---

※6月7日(金)までにご返信賜りますようお願いいたします。

FAX : 0744-23-7796